

【表紙】

【提出書類】	訂正発行登録書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2024年11月7日
【会社名】	稲畑産業株式会社
【英訳名】	Inabata & Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 稲畑 勝太郎
【本店の所在の場所】	大阪市中央区南船場一丁目15番14号 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の経理業務は主に下記記載の当社東京本社で行っております。)
【電話番号】	(050) 3684 4117
【事務連絡者氏名】	執行役員 財務経営管理室長 農田 康一
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号
【電話番号】	(050) 3684 4011
【事務連絡者氏名】	執行役員 財務経営管理室長 農田 康一
【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】	社債
【発行登録書の提出日】	2023年2月24日
【発行登録書の効力発生日】	2023年3月4日
【発行登録書の有効期限】	2025年3月3日
【発行登録番号】	5－関東1
【発行予定額又は発行残高の上限】	発行予定額 25,000百万円
【発行可能額】	7,500百万円 (7,500百万円) (注) 発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額 (下段()書きは発行価額の総額の合計額)に基づき算出して おります。
【効力停止期間】	この訂正発行登録書の提出による発行登録の効力停止期間は、 2024年11月7日(提出日)であります。
【提出理由】	2023年2月24日に提出した発行登録書の記載事項中、「第一部 証券情報 第1 募集要項」の記載について訂正を必要とするため 及び「募集又は売出しに関する特別記載事項」を追加するため、 本訂正発行登録書を提出します。
【縦覧に供する場所】	稲畑産業株式会社 東京本社 (東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号) 稲畑産業株式会社 名古屋支店 (名古屋市西区名駅二丁目27番8号 名古屋プライムセントラル タワー内) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

【訂正内容】

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

以下に記載するもの以外については、有価証券を募集により取得させるに当たり、その都度「訂正発行登録書」又は「発行登録追補書類」に記載します。

＜稲畑産業株式会社第（未定）回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）に関する情報＞

1【新規発行社債】

（訂正前）

未定

（訂正後）

本発行登録の発行予定額のうち、金（未定）円を社債総額とする稲畑産業株式会社第（未定）回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）（以下「本社債」という。）を、下記の概要にて募集する予定です。

各社債の金額 ：金1億円

発行価格 ：各社債の金額100円につき金100円

2【社債の引受け及び社債管理の委託】

（訂正前）

未定

（訂正後）

社債の引受け

本社債を取得させる際の引受金融商品取引業者は、次の者を予定しています。

引受人の氏名又は名称	住所
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目13番1号
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号
SMB C日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目9番2号

（注）元引受契約を締結する金融商品取引業者は上記を予定しておりますが、各引受人の引受金額、引受けの条件については、利率の決定日に決定する予定であります。

3【新規発行による手取金の使途】

（1）【新規発行による手取金の額】

（訂正前）

未定

（訂正後）

本社債の払込金額の総額（未定）円（発行諸費用の概算額は未定）

（2）【手取金の使途】

（訂正前）

設備投資資金、投融資資金、借入金返済資金、社債償還資金、コマーシャル・ペーパー償還資金及び運転資金に充当する予定であります。

（訂正後）

設備投資資金、投融資資金、借入金返済資金、社債償還資金、コマーシャル・ペーパー償還資金及び運転資金に充当する予定であります。

なお、本社債の手取金については、全額を後記「募集又は売出しに関する特別記載事項」に記載の適格クライテリアに該当するプロジェクトである、東京本社ビルの新築（建替え）資金、広島県福山市のバイオマス発電所の建設資金に充当する予定です。

「第一部 証券情報 第2 売出要項」の次に以下の内容を追加します。

【募集又は売出しに関する特別記載事項】

＜稲畑産業株式会社第（未定）回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）に関する情報＞

グリーンボンドとしての適格性について

当社は、本グリーンボンドの発行にあたり、「グリーンボンド原則2021」（ICMA）、「グリーンローン原則2023」（LMA, APLMA, LSTA）、「グリーンボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン（2022年版）」（環境省）及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022年版）」（環境省）に準拠したグリーンファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」という。）を策定しております。第三者評価として、株式会社格付投資情報センターより本フレームワークが上記の原則・ガイドラインに適合している旨のセカンドオピニオンを取得しています。

本フレームワークへの第三者評価の取得につきましては、環境省の「令和6年度グリーンファイナンス拡大に向けた市場基盤整備支援事業（脱炭素関連部門）」の補助金交付対象となっております。

グリーンファイナンス・フレームワーク

（1）調達資金の用途

当社は、グリーンファイナンスにて調達した資金を、適格クライテリアのいずれかに該当する新規または既存のプロジェクトに充当します。リファイナンスについては調達から遡って3年以内に実施されたプロジェクトを対象とします。

＜適格プロジェクト＞

ICMAカテゴリ	適格クライテリア
再生可能エネルギー	● 再生可能エネルギー（太陽光・風力・バイオマス*）発電における設備投資 ・ 土地の取得、賃貸 ・ 施設建設や拡張、設備購入・設置 ・ 運営、保守・管理 * バイオマス発電は、燃料が下記の①、②を満たすプロジェクトを対象とします。 ① いずれも工場などの周辺で調達された(i)廃棄物、(ii)未利用材、(iii)持続可能性に係る認定や認証を取得した燃料（FSCにより認証された木材・木材ペレット由来など）等に限ること ② ライフサイクルベースでCO2排出量の削減効果があることを確認できる燃料を使用すること ● 再生可能エネルギー由来の電力購入、グリーン電力証書・非化石証書の購入
グリーンビルディング	● 下記いずれかの認証を調達から遡って36ヶ月以内に取得・更新、もしくは今後取得予定の建物の建設・取得 ・ CASBEE：S、A（自治体版を除く） ・ DBJ Green Building認証：5つ星、4つ星、3つ星 ・ LEED：Platinum、Gold、Silver
エネルギー効率（建物）	● 下記の通り、建物用途毎に定められたZEB Oriented基準以上のBEIを満たす（予定を含む）建物の建設・取得 ・ BEI0.6以下の工場等・事務所等・学校等 ・ BEI0.7以下のホテル等・百貨店等・病院等・飲食店等・集会所等

（2）プロジェクト評価と選定のプロセス

調達資金を充当するプロジェクトは、財務経営管理室およびサステナビリティ推進部との協議により財務経営管理室が適格クライテリアへの適合状況に基づいて選定し、財務担当役員が最終決定します。

なお、環境・社会的リスク低減のために以下について対応していることを確認します。

- ・ 国もしくは事業実施の所在地の地方自治体にて求められる環境関連法令等の遵守と、必要に応じた環境への影響調査の実施
- ・ 事業実施にあたり地域住民への十分な説明の実施
- ・ 「稲畑産業グループ サステナビリティ基本方針」および「稲畑産業グループ サステナビリティ行動指針」などに沿った原材料・資材等調達、環境汚染の防止、労働環境・人権への配慮の実施

（3）調達資金の管理

調達資金は、財務経営管理室が適格プロジェクトへの充当及び管理を行います。なお、本フレームワークにて調達された同額が適格プロジェクトに充当されるよう、定期的に社内データベースを用いて、追跡・管理します。調達資金が適格プロジェクトに充当されるまでの間は、現金または現金同等物にて運用します。

(4) レポーティング

当社は適格プロジェクトへの充当状況ならびに環境改善効果/社会へのインパクトを当社ウェブサイト・統合報告書のいずれかまたは両方にて報告します。グリーンローンについては、貸付人から要請があった場合は、貸付人への報告方法を協議の上決定します。なお、調達資金が充当された後に大きな資金状況の変化が生じた場合は、速やかに公表するとともに貸付人へは合意した方法にて報告します。

A. 資金充当状況レポーティング

調達資金が全額充当されるまでの間、年次にて適格プロジェクトへの充当状況に関する以下の項目について、実務上可能な範囲でレポーティングする予定です。

- ・ カテゴリ区分ごとの充当額
- ・ 未充当額の充当予定時期と未充当期間の運用方法
- ・ 新規支出とリファイナンスの割合

B. インパクトレポーティング

調達資金が全額充当されるまでの間、適格プロジェクトによる環境改善効果/に関する以下の項目について、年次にて実務上可能な範囲でレポートする予定です。

ICMAカテゴリ	レポーティング（例）
再生可能エネルギー	・ プロジェクト概要 ・ エネルギー種別ごとの年間発電容量とCO2排出削減量 ・ 再生可能エネルギー由来の電力購入量、グリーン電力証書・非化石証書購入電力量
グリーンビルディング	・ 建物概要 ・ 取得認証の種類とランク ・ 年間エネルギー使用削減量もしくは削減率（BEI） ・ 年間CO2排出削減量
エネルギー効率 （建物）	・ 建物概要 ・ BELS評価を取得する場合は、評価手法基準年度と取得ランク ・ 年間エネルギー使用削減量もしくは削減率（BEI） ・ 年間CO2排出削減量